

令和5年度北海道訓練センター 第5次運営(日出生台運営)

作戦名「霧嵐作戦」

琴の海

(発刊)
大村東彼防衛協会
(印刷所)
つじ印刷
(TEL)52-3230



大村駐屯地 QR

第1中隊・衛生小隊 訓練検閲(4施大)

第5次運営(16普連)

第4施設大隊(大隊長 2等陸佐 赤尾 広徳)は、令和6年2月1日(木)から令和6年2月14日(水)までの間、日出生台演習場において令和5年度北海道訓練センター第5次運営の参加に併せて第1中隊及び衛生小隊の訓練検閲を実施した。訓練検閲の開始にあたり、第1中隊に対し「霧嵐作戦」に寄与する最良の方策を追求せよ」衛生小隊に「第1中隊の人的戦闘力の維持、増進、発揮に最大限寄与せよ」また、各受閲部隊に対し「安全管理を徹底せよ」を要望するとともに、任務完遂に向けて活き活き躍動・先駆けることを期待すると訓示した。訓練検閲間、各受閲部隊は降雨及び寒冷下等厳しい状況の中、特性を踏まえ安全対策を万全にし任務を完遂した。訓練検閲を通じ、各部隊の任務遂行能力の現状を把握するとともに、今後の訓練への資を得ることができた。



連隊長による訓示



隊容検査(第1中隊)



隊容検査(衛生小隊)



障害処理

第16普通科連隊(連隊長 1等陸佐 土肥 崇紀)は、令和6年2月1日(木)から令和6年2月14日(水)までの間、日出生台演習場において実施された令和5年度北海道訓練センター第5次運営に攻撃部隊として参加した。本訓練は、実戦的環境下において戦闘力の組織化等について演練し部隊の任務遂行能力等を向上することを目的として行われ、訓練開始に当たり連隊長は「任務完遂」「本気」を要望事項として掲げるとともに作戦名を「霧嵐作戦」と命名し、検討・検証及び練成した成果を遺憾なく発揮して連隊長以下一丸となって攻撃を実施した。戦闘においては頑強な防衛部隊に対して空地(衛星・ドローン・機動戦闘車等)から獲得した正確な情報に基づき、迅速に火力を発揮し、攻撃部隊を着実に前進させ、与えられた任務を完遂した。連隊は、本訓練で得られた多くの成果及び教訓を活かし、更に精強な部隊となるべく邁進する。



MCVと連携し攻撃前進する小銃小隊

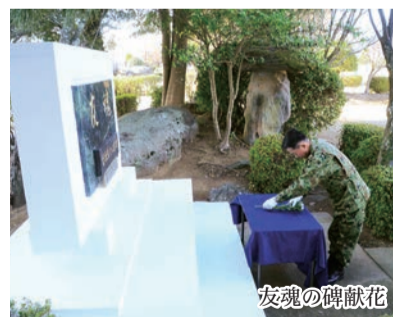


スカイラインシューター

西部方面総監初度視察



儀仗



友魂の碑献花



懇談



施設巡視

大村駐屯地(駐屯地司令 1等陸佐 土肥 崇紀)は、令和6年1月15日(月)第40代西部方面総監(陸将 山根 寿一)による初度視察を受察した。受察においては状況報告、施設巡視及び懇談等を実施し、業務遂行状況について理解いただいた。

新部隊長着任



大村駐屯地業務隊長 2等陸佐 桑原 和宏
令和6年3月18日付
【前職】北部方面航空隊本部教育隊長
(丘珠駐屯地)